

活かす通信

2022年7月 (180号)

<http://www.toushi-club.com>

★★

巻頭言

元時事通信記者 篠田憲明

岸田長期政権の芽も出て来るか—低投票率は確実な参院選

★★

新型コロナ変異株やロシアのウクライナ侵攻といった内外で大きな問題が生まれた割には、今年の通常国会は平穩そのもの。大方の予想通り予定通り会期の延長もなく、今月22日の公示、7月10日投開票の参議院選挙に向かって本格化している。この選挙は衆議院総選挙みたいに「政権選択」の選挙ではなく、まあ米国の中間選挙的な意味合いを持つが、ここで2012年末から政権与党に復帰した自民党と公明党の連立政権の維持は確実だろう。そうなれば、自民党岸田政権が今後3年間は続く「長期政権」の芽も出てこよう。勿論不安な要素も散見されるが、今や“与党”と言われる国民民主党の玉木雄一郎代表は「野党共闘は困難。自党の勢力増しか頭がない」と言うほどしらけムードが蔓延している。むしろ心配なのは投票率の低下で「(前回の48.8%を下回る)戦後最低になるかもしれない」との指摘もあるほどだ。

不安な要素とされるのが、細田博之衆院議長の女性記者へのセクハラ問題のほか、自民党の古川赳代議員が18歳女性に飲酒させホテルに誘い現金4万円を渡したという不謹慎な事件。また、公明党では「将来の幹部候補生」とされる同党職員が破廉恥動画を数多く投稿していた問題。結局、古川氏は釈明の記者会見も開かず議員辞職をしないまま、国会が閉幕した。こうした問題のほか、ロシアのウクライナ侵攻長期化による世界の食糧事情悪化による物価高や中国による台湾進攻の懸念増大。さらには、わが国の賃金水準が増加しないまま消費税の相次ぐ引き上げなどを吸収できないままの賃金は据え置き。

今ではGDPで世界第3位の経済大国でありながら世界の購買力平価ランキングではなんと36位。韓国イタリアよりも低い。これではいくら岸田首相が「貯蓄から投資へ」と叫んでも反応がないはずだ。筆者が政治記者としてスタートした頃、首相、官房長官ら当時の政権幹部は「政治の要諦は物価を抑えて国民を安心させ、将来への夢を与えること」と強調していたことは忘れられない。残念ながら筆者は東京都、大阪府、神奈川県など、注目候補が多く出馬する選挙区の勝負を楽しむ7月10日になりそうだ。(憲)

★★

勝池レポート アジア資産運用アドバイザー 勝池和夫

「気をつけよう、甘い言葉と明るい未来」

★★

20年くらい前は、「気をつけよう、甘い言葉と暗い道」という防犯協会の注意書きが町の少し寂しい場所に掲示されていました。この注意書きに擬えて、私が投資家の皆様に自戒を込めてお伝えしたい標語は、「**気をつけよう、甘い言葉と明るい未来**」です。

日本の投資家は業者に奨められて、明るい未来を謳った株式や投資信託を購入することが多いと思います。しかし、大概の場合、ここ1~2年の間に設定されたアメリカの成長株中心の投資信託のように、煌びやかなハイテクの未来と、見事な右肩上がりの参考銘柄の株価チャートが満載された販売用資料が用意されている商品には注意が必要です。なぜなら、この手の商品は高値近辺で大量に設定される傾向があるからです。

よしんば、それらの商品がある程度値上がりしたとしても、直ぐに別の種類の明るい未来が眩しい商品に乗り換えを奨められます。そして、人が好い投資家はそのアドバイスに従い、売ったり買ったりを繰り返し、気が付くと明るい未来どころか暗い過去を積み重ねる結果になります。いくら投資は自己責任と言われても、投資家は不利ですね。

日本では、「貯蓄から投資へ」のシフトが順調に進んでいません。その原因に、「日本人は安全志向が強いから」とか「金融リテラシーが低いので」とか、色々指摘されています。しかし私は、株式や投資信託が本来あるべき長期の投資商品としてではなく、実際は短期の投機商品のような扱いで投資家に推奨されていたからだと思います。そのため、日本の殆どの善良な投資家は、今まで投資の醍醐味を十分に経験したことがないはずで、業者には、投資家の長期の資産形成に役立つなどという発想は殆どありません。

以下は、史上最も偉大な投資家と称されるウォーレン・バフェットの言葉です。

「歯医者のような別の分野の専門家だったら、素人を大いに助けてくれます。しかし、大抵の資産運用の専門家は、お金のために何も役に立ちません。」
(Full-time professionals in other fields, let's say dentists, brings a lot to the layman. But in aggregate, people get nothing for their money from professional money managers.)

また、アメリカの第16代大統領のエイブラハム・リンカーンはこうも述懐しています。

「大抵の人は自分が決めた分だけ幸せになれます。」 (Most folks are about as happy as they make up their minds to be.)

資産運用は自分で投資先や売買タイミングを決めないと、人任せでは成功しても達成感に繋がりません。ロボアドも含めてアドバイザーからの提案は参考程度が良いと思います。

金融機関から習う金融リテラシーよりも、アドバイザーが一様に唱える「長期」「分散」

「積立」の金科玉条よりも、古今東西の偉人の名言を投資の心得とし、自分で勉強することが人生をより豊かにしてくれる気がします。現在はそれが可能な時代です。

★★

ムッシュ望月の今月の映画＋相場展望

映画は世につれ、世は映画につれ、世相を反映する相場

★★

1, 今月の相場

2022年の金利の引き上げのスピードがインフレ懸念から速まり、引き上げ幅も3月の0.25%、5月の0.5%、6月には0.75%なることで、米国株は大きく売込まれています。更に7月にも0.75%引き上げ予想もあり市場には不安感が漂っています。当初の金融引き上げ目標は正常状態の2.5%でしたが、ここに来てこの上限が3%から4%と、インフレ懸念により引き上げられていることから、投資家は市場から資金を引き揚げています。その引き上げ額が大きいのがナスダックに上場するグロース株です。東京市場でもそのグロース株下落の影響を受けてレーザーテック(6920)が大きく値を下げており、17日の下落幅は8.20%でした。それでもPERは72.5倍と割高状態です。市場の人気株の多くは一時的にPERが100倍以上に買われ、その後人気が禿げることで好業績銘柄の平均的なPERの50倍程度まで株価は売られていく傾向があります。このレーザーテックが東京市場の人気株の代表であり、この株価の下落幅、下落率が人気相場終焉後の動きが、相場の世界を続ける上で参考となります。相場格言には「半値八掛け2割引」があり、高値から68%下落することを意味します。最悪のケースは「更におまけの5割引き」があり、このケースでは高値から84%の下落となります。2000年のITバブル崩壊時には、ソフトバンクGや村田製作所が87%程度下落を記録しました。人気相場の最終局面にはこのような現象が起こるこ

とをわすれないでください。この時期には、投資家はグロース株からバリュー株にシフトします。電力株やガス株の株価が意外に堅調となります。またエネルギー株も買われる傾向もあります。単にウクライナによる原油株高が影響する訳でもありません。金利引き上げに影響を受けにくい無借金企業も投資対象となります。日本が長期のデフレに悩まされるようになったのは、平成の鬼平と呼ばれた三重野泰周の時期で、インフレ退治の為に 2.5%の公定歩合を 1987 年 2 月の 2.50%を 89 年 5 月に 0.75%あげ、12 月には 0.5%上げ、90 年 3 月には 1%引き上げ、8 月には 6.0%と 3 年 6 ヶ月程度で 3.5%引き上げしました。これで完全に景気は減速と言うより、立ち上がれないまでに疲弊しました、1993 年 9 月に、マイナス金利にしましたが、企業業績は浮上できませんでした。アメリカは、現在のペースで金利を引き上げると、日本が経験した長期デフレ状態になる可能性があります。米国の FOMC は、歴史に学んで欲しいものです。

2、今月の映画鑑賞：流浪の月

5 月中に 13 本の映画を観ました。通算では 57 本ですから、年間の目標の 120 本は十分可能なペースです。5 月で印象に残った映画には、「カモンカモン」、「ドクターストレンジ」、「シンウルトラマン」、「20 歳のソウル」、「トップガン」があります。紹介するのは邦画「流浪の月」です。同作品は、2020 年本屋大賞を受賞した凧良ゆうのベストセラー小説を、「怒り」の李相日監督が広瀬すずと松坂桃李の主演で映画化したものです。ある日の夕方、雨の公園でびしょ濡れになっていた 10 歳の少女・家内更紗に、19 歳の大学生・佐伯文が傘をさしかけます。伯母に引き取られて暮らす更紗は家に帰りたがらず、文は彼女を自宅に連れて帰ることに。更紗はそのまま 2 カ月を文の部屋で過ごし、やがて文は更紗を誘拐した罪で逮捕されます。“被害女兒”とその“加害者”という烙印を背負って生きることとなった更紗と文は、事件から 15 年後に再開するが……。更紗のそばには婚約者の亮がおり。一方、文のかたわらにもひとりの女性・谷が寄り添っていた。二人は、また寄りを戻すことになるのだが、二人の思いが上手くつながるには至らない。犯罪者と加害者という十字架を背負い、生きていく。主役の更紗を演じるのは広瀬すず、相手役の佐伯文を演じるのは松坂桃李。更紗の現在の恋人・中瀬亮を横浜流星、心の傷を抱える文に寄りそう看護師・谷あゆみを多部未華子が演じます。「パラサイト 半地下の家族」のホン・ギョンピョが撮影監督を担当している作品であり、日本のアカデミー賞にはノミネートされてもおかしくない良作品です。

★★

2022年7月のイベントのお知らせ

★★

投資勉強会：

2022年7月の活かす塾・イベント情報 (6月20日記)

- 07月06日(水)：15:00～花咲投資クラブ、イカス事務所
- 07月12日(火)：16:00～イカス投資塾、イカス事務所
- 07月14日(木)：13:30～日比谷会投資クラブ、イカス事務所
- 07月16日(土)：13:00～アマルフィ投資クラブ、リモート
- 07月16日(土)：15:00～スペリオール投資クラブ、イカス事務所
- 07月28日(木)：15:00～東京3Eクラブ、リモート+イカス事務所

新しい行事スタート！！サロン・ド・知久：

特別企画：残り2回 6月25日、7月23日、第4週の土曜日：14:00～16:00

講師：勝池和夫氏、「異次元の成長が期待されるインド経済」6回シリーズ

★ 8月27日(土) 午後2時から「株-1 グランプリ優勝を勝ち取った短期投資戦略～決算書及びファンダメンタル分析を短期投資に活用する手法」

講師：古賀真人

★ 9月からは新企画「日経の読み方」、講師：山本博幸

第5回：22年6月24日(金) 第4金曜日：18:00～21:00 倶楽部エル

カラオケ会、3時間ジックリ歌え、料理も堪能できます

第17回 07月13日(水) 10:00～13:00

講師：三宅あみ氏、横浜街歩き、昼食は北欧料理「スカンディヤ」

第19回：22年08月17日(水) 14:00～16:00

講師：北野岳氏、カンボジアの現状

イベント：

第6回：22年7月15日(金)：18:00～21:00 倶楽部エル

カラオケ会、料金は6500円(消費税込み)

☆You Tube「ムッシュ望月のこれが注目株だ」2021年8月よりスタート

毎月2回配信、大好評！！ <https://youtu.be/sal2oyMxie4>

★★

事務局からご案内

★★

☆िकास投資塾の参加費は1回3000円で、昼間講座（毎月第2火曜日午後4時から2時間）と夜間講座（毎月第3火曜日午後6時30分から2時間）があります。是非ご参加ください！！個別特別相談は1回1時間1万円。

☆サロン・ド・知久：参加費1回2000円、勝池塾：参加費1回2000円、但し年間費会員は1000円

☆投資クラブ入会希望の方は、info@toushi-club.com宛にご連絡ください。

☆当メルマガの配信登録（無料）希望、アドレス変更、配信解除連絡はホームページからお願い致します。 www.toushi-club.com/fmerumaga.htm

☆具体的な銘柄をご希望の場合は週刊有料メルマガをお申込みください。

週刊有料メルマガ：年間費用24,000円、毎月日曜日配信です。

★★

イカス通信発行人：特定非営利活動法人イカス www.toushi-club.com

*当メールマガジンについてのご意見は以下のメールにお願いします

メール：staff@toushi-club.com ☎：03-3432-5859 FAX：03-3432-5869

発行責任者：木下宇一郎

★★